

河井寛次郎と島根の民藝

企画展



濱田庄司
《柿柿赤絵角皿》
昭和47年(1972)頃
©濱田窯



河井寛次郎
《海鼠釉五角食籠》
昭和17年(1942)



河井寛次郎《茄紫蝟龍茶瓶》大正10年(1921)頃

グラントワ
Grand Toit



バーナード・リーチ
《ガレナ袖筒描グリフォン図大皿》
昭和27年(1952)
©The Bernard Leach Family, DACS & JASPAR 2021 E4267

手がつくる、
親しいかたち



河井寛次郎《三色扁壺》
昭和37年(1962)

2021 9/11 土 11/1 月

【開館時間】9:30～18:00(展示室への入場は17:30まで) 【休館日】毎週火曜日

【観覧料】当日券／一般：1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生：600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

小中高生：300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券／企画・コレクション展セット900円

※()内は20名以上の団体料金 ※小中高生の学校利用は入場無料 ※各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方およびその介助者(1名まで)は入場無料 ※前売券は、ローソン各店(Lコード62120)、グラントワ総合受付カウンターでお求めになります。

【主催】島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、山陰中央新報社、TSKさんいん中央テレビ

【特別協力】島根県立美術館 【後援】芸術文化とふれあう協議会

島根県立石見美術館

島根県芸術文化センター「グラントワ」内



※所蔵の表記がない作品はすべて島根県立美術館蔵

河井寛次郎と 島根の民藝

大正から昭和にかけて活躍した陶芸家・河井寛次郎(二八九〇―一九六六)は、島根県安来市出身です。京都を拠点に、初期から晩年まで様々な釉薬や制作技法を駆使し、多彩な作品を創り出しました。

河井は、柳宗悦(二八八九―一九六六)・思想家・宗教哲学者や濱田庄司(二八九四―一九七八)・陶芸家らとともに「民藝運動」を興したことで知られています。当時、民衆の手仕事による工芸品は「下手物」と呼ばれ、評価されていませんでしたが、河井たちは「下手物」に美しさを見出し、代わる呼び名として「民衆的工芸」略して「民藝」という言葉をつくりました。その後は、各地で民藝品の調査・蒐集を行うとともに、民藝という美の概念を人々に訴えました。

本展では、河井寛次郎の初期から晩年までの仕事を、島根県立美術館(松江市)のコレクションからたどりまわります。合わせて、民藝運動を全国に推進した作家たちの作品や、島根の民藝についてもご紹介いたします。河井の豊かな造形と、ご当地ならではの手仕事の魅力をお楽しみください。



《石見焼 銚絵笹文大徳利》
江戸時代末期～昭和時代
(19～20世紀)
石見安達美術館蔵



《喜阿弥焼 小土瓶》
江戸時代末期～昭和時代
(19～20世紀)
出雲民藝館蔵



河井寛次郎
《三色扁壺》
昭和38年(1963)頃
島根県立美術館蔵



芹沢銈介《小川紙漉村文着物》
昭和18年(1943) 個人蔵



河井益一《皿立て》
昭和時代(20世紀) 個人蔵



《手あぶり 大津黒陶》
昭和25年(1950)頃 出雲民藝館蔵

見出された
島根の民藝

柳宗悦は昭和六年(一九三三)に、島根の津和野から安来までをめぐり、民藝調査・「島根工芸診察」を行いました。そして現益田市喜阿弥町の「喜阿弥焼」、石見地域の「石見焼」、大田市温泉津町の大規模な登り窯「出雲地域の「日の出団扇」など、島根の様々な手仕事に民藝としての価値を見出し、それらの魅力を全国に紹介しました。

◎関連プログラム

① 記念講演会

「河井寛次郎の人と作品～手驚足喜～」

河井寛次郎の孫でもある学芸員をお招きし、河井の人となりと作品の魅力をお話しいただきます。

9月25日(土) 14:00～15:30

【会場】講義室 聴講無料/定員50名/要申込

【講師】鷲 珠江(河井寛次郎記念館 学芸員)

② 陶器制作の実演鑑賞

河井寛次郎の内弟子を勤めた石見の陶工をお招きし、「型押し」、「筒描き」、「打葉」、「泥刷毛目」など、河井が駆使した制作技法を実演していただきます。

10月23日(土) 14:00～15:30

【会場】講義室 参加無料/定員25名/要申込

【講師】森山雅夫(森山窯/島根県大田市温泉津町)

【①②の申込方法】事前に電話かE-mailにてお名前、人数、電話番号をお知らせください。

TEL: 0856-31-1860 E-mail: zaidan@grandtoit.jp

開幕記念ギャラリートーク

本展の特別協力者である島根県立美術館(松江市)の担当学芸員が、展示解説を行います。

9月11日(土) 14:00～15:00

【会場】展示室D 参加無料/当日先着15名 ※13:30より受付

【講師】山本麻代(島根県立美術館 主任学芸員)

※企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要

ギャラリートーク(学芸員による作品解説)

9月19日(日)、10月16日(土)、31日(日) 14:00～15:00

【会場】展示室D 参加無料/当日先着15名 ※13:30より受付

※企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要

開館記念感謝祭「きんさいデー」 10月10日(日) 10:00～14:00

館内で各種イベントを開催!

※詳細はホームページ等をご覧ください。

※美術館の無料開放はありません。

敬老週間

9月15日(水)～20日(月)

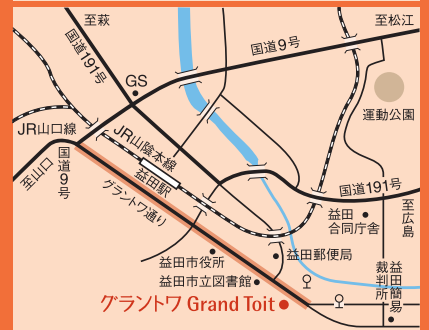
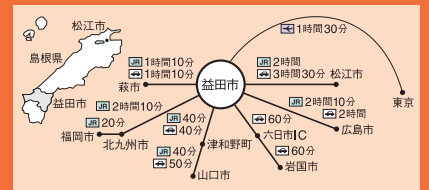
年内に65歳以上になる方は美術館観覧料が無料です。年齢が確認できるものをお持ちください。

交通案内

石見交通バス「グラントワ」下車徒歩1分
JR 益田駅から徒歩15分
萩・石見空港からJR 益田駅まで連絡バス約15分
浜田自動車道浜田ICから自動車約50分
JR 新山口駅から益田駅まで特急約90分
◎駐車場あります(約240台・無料)
※ただし土日祝などイベント開催時は駐車場の混雑が予想されます。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、関連プログラムの定員を減らす場合があります。 ※美術館の入館の際はマスクの着用、入室前の検温、緊急連絡先の記入などをお願いしています。 ※施設の開館状況、展覧会の会期、関連プログラムなどが変更・中止になる可能性があります。ご来館の前には、グラントワホームページにて最新の情報をご確認ください。

企画展についての最新情報は、特設サイトをご覧ください。特設サイトはこちら▶



島根県立石見美術館

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15「グラントワ」内
TEL 0856-31-1860(代表) FAX 0856-31-1884(代表)
E-mail: zaidan@grandtoit.jp http://www.grandtoit.jp

次回
企画展

美男におむす

11月27日(土)～2022年1月24日(月)

